

# 令和8年度 板橋区立向原小学校 学校経営方針

## 1 MIRAI SCHOOL いたばし アクションプラン2028 アクションプラン1年目

### 3つの戦略的視点

- 重点戦略1 学びを続けるうえでの、様々な選択肢の提供  
～ 不登校児童・生徒の社会的自立を支える多様な学び ～
- 重点戦略2 様々な背景をもつ子どもに応じた個別支援の強化  
～ 発達の特性や外国籍などの背景をもつ児童・生徒に対応した多様な学び ～
- 重点戦略3 子どもの状況に応じた学びの推進と地域と協働した学びの実施  
～ 様々な教育的ニーズに応じた児童・生徒の多様な学び ～

### 5つのビジョン

- Motivation 自分らしくすすむチカラ
- Inclusion 認め合って生きるチカラ
- Relation つながり助け合うチカラ
- Activation 自ら行動を起こすチカラ
- Innovation ゼロから切り拓くチカラ

### 5つの行動指針

- ① 違いを認める  
他者との違いを認め、一人ひとりが追求する幸せのかたち 22 に寄り添い、互いに支え合うことで、お互いの自己肯定感や自己有用感を高めていく。
- ② 選択肢を増やす  
学習の方法や場所などの学びの多様性を尊重し、一人ひとりが個性や能力に応じた学びを選択し、主体的に学ぶ環境、いわゆる「学びのデザイン」をつくっていきます。  
教室に通うことが困難な場合には、教室以外の校内の居場所やオンライン学習、フリースクールなどの多様な学びの選択肢の尊重。
- ③ 余白をつくる  
教育現場全体に、空間的、時間的、心理的な余裕をつくる。空間的余白は、柔軟な学習環境を提供し、子どもの学び方の幅を広げる。時間的余白は、教員の業務効率化だけでなく、子どもが自ら学び、じっくり考える時間を確保する。心理的余白は、子どもと教員の双方に創造性を発揮する機会をもたらし、ストレス軽減とともに新しいアイデアや独創的な思考をはぐくむ。
- ④ 子どもも大人も社会の一員  
人は生まれながらにして、潜在的な学習能力を備えており、自身がおかれた環境や経験から学び、成長していきます。子どもは自ら進んで環境と関わり合う中で、学びを深めていく。
- ⑤ つなぐ、つながる、つなげる  
教育が直面する課題は複雑化・多様化しており、学校や教育委員会だけでなく、福祉や医療関係者など、多様な関係者と目標を共有し、協働する中で新しい価値を生んでいく。「共創」

## 2 区の最上位目標「教育は人が幸せに生きるためにあります」の実現に向けて

教育の板橋の実現に向けて ～これからの向原小学校のあるべき姿～

- 学校の主役はいうまでもなく子供 → 「子供のために」といつも考えているまわりの大人
- 学校は子供たちが安心できる場所 → わかりやすい授業をしてくれて信頼できる先生
- 地域は子供たちが安心できる場所 → いつも笑顔で何でも話せる地域の人
- 家庭は子供たちが安心できる場所 → 我が子のために学校と作戦を立てる保護者

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

〈個別最適な学び〉

- 個に応じた指導の充実  
児童理解、支援体制、学級づくり
- ICT 環境の活用

成果

還元

〈協働的な学び〉

- 特別活動の充実
- 探究的な学習
- 異なる考えを知る時間

心理的安全性のある向原小学校

- 挨拶とありがとうが聞こえる職場 → チームだから互いに感謝、みんなに声掛け
- 失敗とごめんなさいが聞こえる職場 → チームだから失敗も認める、でもちゃんと謝る
- 意見交換と笑い声が聞こえる職場 → チームだから子供のためには意見も戦わせる

## 3 学びのエリアのめざす子ども像

自律 ～探究する力を高めることを通して～

めざす子ども像にせまるための基本方針

- 基本方針1 個に応じた学びをすすめる力の育成
- 基本方針2 あいさつの活性化
- 基本方針3 支援の必要な児童・生徒への継続した支援の実現

## 4 特別活動の充実（研究は終了するが、基盤となる力として継続して取り組む）

- 基本である学級活動の充実（話し合い、合意形成、役割分担、自主的・実践的な取組）
- よりよい学級生活をめざす活動を通して、学級集団の協働性を高める
- 役に立つ喜びを実感し、互いのよさを認め合う活動で一人一人が大切にされる
- 児童が自主的によりよい生活や人間関係を築くことにより、学び合う学級の雰囲気をつくり、学ぶ意欲をもった学級集団に成長させる

## 5 本校の教育目標

学校教育目標

- ◎よく考える子 ～最後まで課題に取り組み 解決しようとする子～
- 思いやりのある子 ～自分を大切にし すすんで人とかかわることができる子～
- たくましい子 ～よく食べ よく寝て よく遊ぶ子～

## キーワード すべては子供たちのために

学校・保護者・地域、みんなでつくる穏やかな空気の下で  
「笑顔があふれる元気な向原小学校」

### 笑顔あふれる元気な児童

学ぶ喜び、自分が大切にされている喜び、何かを  
やり遂げる喜びを感じることができる児童

### 笑顔あふれる元気な教職員

児童の学びを支え、常に児童と本気で向き合  
い、共にやり遂げた充実感を感じることがで  
きる教職員

### 笑顔あふれる元気な保護者と地域の方々

我が子を通わせてよかったと感じる保護者  
本校を自慢し、誇りにしている地域の方々

## 7 目指す学校にせまるための指導の重点（目指す教職員像）

### プロフェッショナルとしての意識をもって職務にあたる。

#### (1) 確かな学力、生きる力を育む授業の創造

学び合う教室づくり、授業づくりを大切にする教職員

基礎・基本の徹底による個々の確実な学びの定着

ペアやグループ学習の充実、机の配置等授業形態の工夫

主体的に学びをすすめる力の育成とスタンダードSに即した授業をつくる教職員

**導入の工夫や 課題等の提示の工夫による、主体的な学びの充実**

**学び(資質・能力)を意識したためあての提示と、自分の言葉でまとめを書くことができる児童の育成。**

規律ある生活を通し、心を育む教職員

よいことはみんなの前で本気で褒め、その場で直すのではなく、**きめ細やかな指導や支援の充実**

児童の小さな伸びを見逃さず認める

1日に1回は必ず学級の全児童とかかわり、成長につなげる。

授業で勝負できる教職員

教えるから、導く、引き出すへ、研修への積極的な参加、教科等の専門性を高める

### 教師が授業に臨む姿勢

- 授業の開始と終了時刻を守る。
- この時間のねらいを明確に伝える。
- 日頃から言葉遣いを意識する。**
- 指名は必ず「～さん、～くん」
- 間違えた児童が恥ずかしい思いをしないよう配慮する。
- 授業の終わりには、必ず次時の予告をする。

### 児童に身に付けたい授業に臨む姿勢

- 授業が始まる前に学習の準備を整える。
- 正しい座り方、姿勢。
- 意見は起立して話す。
- 話す人の方を向いて、最後まで聞く。
- 正しい言葉遣いで話す。

## (2) 安心・安全な学校

### 危機管理意識の高い教職員

災害や不審者だけでなく、教室内の児童や施設の様子にも気を配る

### 教育環境の整備に気を遣う教職員

子供の目線で確認する 保護者の目線でも確認する

### 報告、連絡、相談そして記録を確実にできる教職員

確実な記録は良くも悪しくも必ず生きる

### 情報を共有し合うことのできる教職員

子供にかかわる話は前向きに

### いじめを見抜く豊かな感性をもつ教職員

相手意識のある集団作り、善悪の判断や集団のルールに視点を置いた教師の言動

#### 教師の安全・安心に対する姿勢

- 体罰、不適切な行為はゼロ。教育者として毅然とした指導を行う。
- いじめ、不登校を芽のうちに摘み取る。
- SCの来校日は必ず情報交換をする。
- 欠席が2日続いたら、家に確認の電話をする。
- 事故は、その日の夕会で必ず報告。
- 事故を予見し、先手を打った指導をする。  
(施設、児童の行動、天候等)

#### 児童に身に付けたい安全・安心

- 最終的に、自分の命は自分で守るという意識を育てる。
- 叱られたときには、自分のいけなかったところをしっかりと言える。(大人は正直に言ったことを必ず褒める)
- 他の児童のよくない行動を、こっそりでも、大人に伝えることができる。  
(大人は、当該児童をしっかりと守る)

## (3) 一人ひとりを大切にする教育の推進

### 人権意識の高い教職員

何気ない一言を大切にする。子供に寄り添った目線で話す。

### 子供の今を捉える教職員

子供一人ひとりの状況に応じた指導の徹底

### 子供の活躍に感動できる教職員

先生はいつも見てくれているという思いを感じさせるように

### 子供の話をしっかり聞く教職員

状況に応じて必ず複数で対応する

### 特別な支援を必要とする子供

**特別ではなく、すべての子供たちがそれぞれに応じた支援を必要としている。支援を必要とする範囲やかかわりが違うだけ**

#### 教師が一人ひとりを大切にする姿勢

- 呼び方や不用意な言葉に気を付ける。
- 掲示物や作品への配慮。
- 揉め事の際は、必ず双方の意見を聞いた上で、納得させる。
- 虐待の可能性に対する早期発見。

#### 児童に身に付けたい心

- 性別、国籍、障がいなどに関係なく、誰もが大切であるという子供なりの人権感覚。
- 周りの人たちに愛されて自分がいるという意識と、周りの人に対する感謝の気持ち。
- 自分が学級や学校の役に立っているという自己有用感。

#### (4) 教職員の資質向上

指導力や校務処理能力を高め合う教職員

##### 基本的な指導力や校務処理能力の向上と今後求められる指導力の獲得

自分の力を信じ、努力を惜しまず、自分自身に自信のもてる教職員

天狗にはならず、謙虚な日常が、最終的な自信につながる

教育公務員としてサービスの厳正を徹底できる教職員

当たり前前は当たり前前を守る（体罰、不適切な発言、交通事故、わいせつ・・・）

心も体も健康な教職員

働き方改革を意識する。めざせ1ヶ月の時間外在校時間45時間以下。

互いに挨拶をし合うことのできる教職員

子供に身に付けさせたいことは、まずは自分たちから 「立ち止まって挨拶」 「先語後礼」

創意工夫のある教職員

提案における「例年通り」は死語とし、改善や工夫を必ず一つは入れる

#### 板橋区授業スタンダード（S）の徹底

- 1 授業のはじめに学習のねらいを明確に示し、授業の終わりに子供自身に学んだことを振り返らせる。週案にも毎時間のめあてを明確に示す。
- 2 子供が自分で課題を解決する時間を確保。
- 3 友達と自分の考えを交流してお互いのよさに気づき、よりよい考えを創り出す時間を確保。
- 4 電子黒板や一人1台端末などのICT機器を活用して、「分かる できる 楽しい」授業を進める。
- 5 習熟度別学習や、補充的な学習で、基礎的・基本的な知識を確実に習得する学習を充実させる。
- 6 型ではなく、児童の学びの視点からの授業改善を行う。
- 7 身に付けさせたい資質・能力を意識すること。1時間や単元ではなく、年間や9年間を身とした育成をする。
- 8 学習を通して意味（必然性）のある選択 学び方などを選べるようにする。

#### (5) 保護者・地域の方々との信頼関係の構築

個人情報管理ができる教職員

持ち出し、配布物、職員室机上、学校外での会話・・・

外部人材を積極的に授業に活用する教職員

##### にっこり支援地域本部校のよさを積極的に活用

早期対応を常に意識している教職員

先生はすぐに対応してくれたと感じてもらえるように いそがしかったはNG

来校者や電話には誠実で失礼のない対応に心がける教職員

社会人として、向原小の代表として

地域行事に参加する教職員

休みの日にとおもいますが、地域の人たちも休みなのに本校児童のために時間をつくってくれています。子供たちも喜んでくれます。

#### 信頼関係を構築するために

○1にも2にも早期対応

- ・首から上のけがには特に注意。
- ・連絡帳はコピーを朝のうちに管理職へ。
- ・連絡帳より電話、電話より直接顔を見て話す方が気持ちは確実に伝わる。